



羽田 俊介  
水曜会  
(60分)

### 福山高等学校への 野球部監督の招聘は

**問** 野球部強化の目的は。

**答** 卓越した指導力を持つ迫田監督を招聘し、中期的には県内上位、甲子園を狙える力をつけることをめざす。このことは、野球部のみならず全ての生徒の夢の実現、全教育活動の活性化につながると

考えており、生徒だけでなく教職員、そして市内の学校、地域にとどまらず、大きな刺激とエネルギーをいただけるものと期待している。

### ドローンフライトガイダンスは

**問** 作成の目的は。

**答** 今年度は、安全を確保しながら幅広く活用できるように、飛行ルールや各分野での活用事例などをまとめたガイダンスを作成する。今後、実証実験を進め、人手不足の解消や災害対応など、さまざまな分野での活用促進につなげる。



石田 実  
水曜会  
(60分)

### 地域公共交通は

**問** 現状の課題と取り組みは。

**答** 近年のバス利用者の減少に加え、長引くコロナ禍によるさらなる利用の低迷で市民の移動手段の維持、確保が一層困難になっている。そのため、これまで「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」に基づき、バス接近表示システムの

設置や公共交通マップの作成など利用促進に取り組んできた。

また、乗り合いタクシーやおでかけ支援事業により移動手段の確保に取り組んでいるほか、コロナ禍による交通事業者の経営状況の悪化に対応するため、各種の支援策を講じて下支えを行っている。

今後は、先端技術の活用などの新たな取り組みを加えながら、地域特性や利用実態に合った地域公共交通ネットワークの形成につながるよう、公共交通網形成計画を見直していく。



木村 素子  
水曜会  
(60分)

### ※地域共生社会は

**問** ①福祉の視点での取り組みは。

**答** ①これまで介護、障がい福祉、子育てなどの各関係機関が連携し、地域共生社会の実現に取り組んできた。近年では、介護と

子育てのいわゆる「ダブルケア」などの課題が顕在化しており、これらに対応するため、包括的に支援できる体制づくりに取り組む。

②人口減少などで、これまでの役員中心の地域づくりは大きな転換期を迎えている。これからは住民や地域内外の多様な主体の参画による「みんなで共に創るまちづくり」への転換により、持続可能な地域共生社会をめざす。再構築が進み住民同士のつながり、暮らしの支え合いが維持、強化されることは、福祉がめざす包括的な支援体制の構築にもつながると考える。



野村志津江  
公明党  
(50分)

### 市民病院におけるがん治療は

**問** ①拠点病院としての機能や実績は。

**答** ①高度な治療の提供、患者や家族への情報提供や相談支援、地域の医療従事者等への研修、緩和ケアの提供などが挙げられる。令和2年度は、手術2487件、

化学療法7678件、放射線治療9059件、面談や電話による相談支援を1796件行った。医療従事者への研修は2回開催し、35名の医師、看護師が参加した。

②コロナ禍で対面での相談支援が困難になっているが、患者や家族のニーズを把握しウェブを活用した相談やおしゃべり会などの実施を検討している。引き続き、質の高い治療や療養生活が行えるよう緩和ケアの早期の提供にも取り組み、地域の医療機関と連携しながら患者や家族の思いに寄り添った支援に努める。

※地域共生社会：制度・分野ごとの縦割りや、支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我がこと」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人一人の暮らしと生きがいを、地域を共に創っていく社会